

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 21 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	戸室健作
研究課題	2017 年における都道府県別貧困率の実態解明と貧困の解消策の研究				
研究キーワード	非正社員、ワーキングプア、貧困、労働組合	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も	3. すべての人に健康と福祉を	10. 人や国の不平等をなくそう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2017 年の都道府県別の貧困率、ワーキングプア率、子どもの貧困率、捕捉率については、2020 年度に測定・公表した。それらの数値を基にして、都道府県別貧困率の高低が生じる要因について、重回帰分析で明らかにすることを考えていた。しかし、貧困解消のための労働組合の取り組みにかんする聞き取り調査を 22 年度も連続して行ったために、重回帰分析による解明は 23 年度に試みる予定である。また、聞き取り調査の結果は、23 年度に報告書として公刊する予定である。さらに、日本でワーキングプアが発生する原因について解明した研究成果を著書（共著）にまとめる作業をした。この著書『働く人のための人事労務管理』は、2023 年 4 月に公刊された。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載） 【年鑑（査読なし）】</p> <ul style="list-style-type: none">・法政大学大原社会問題研究所編『日本労働年鑑 第 92 集/2022 年版』旬報社、2022 年 6 月 27 日。 戸室担当：「経営労務の動向」159-170 頁。 <p>3. 主な経費</p> <p>貧困問題や労働問題などをテーマとする書籍を中心に購入した。また、ノート型パソコンを購入した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <ul style="list-style-type: none">・日本労働社会学会幹事（研究活動担当）・労務理論学会幹事（学会誌編集担当）・労務理論学会誌編集委員・自治労連・地方自治問題研究機構「人事・給与研究会」委員・福祉国家構想研究会・生活保障基本条例制定部会会員・連合総研「地域コミュニティの一翼を担う労働者自主福祉運動の人材育成等に関する調査研究委員会」委員 <p style="text-align: right;">（本文は 2 ページ以内にまとめること）</p>					